

● 環境省からのお知らせ ●

環境省・環境再生プラザ参考資料の改訂更新情報

\\ 中学生以上向け学習ツールが新しくなりました //

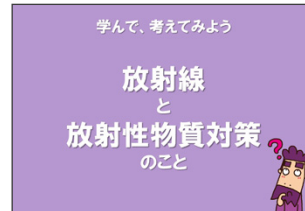
中学生以上向け「学んで、考えてみよう 放射線と放射性物質対策のこと」
スライド資料

この資料は、原発事故発生からこれまでの放射性物質対策などについて、中学生以上を対象とした分かりやすく学んでいただくための学習教材です。この度、最新情報への更新と追加情報を加え一部構成を見直し、新しくなりました。

次の4つのテーマで構成され、放射線に関する知識、学びたい分野、学習の進み具合、実施時間などにあわせて、必要な項目・スライドを選択して学習内容を組み立てることができます。

- I. 東日本大震災と東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故
- II. 環境中に広がった放射性物質の対策について
- III. 福島県産の食品について
- IV. 放射線が体に及ぼす影響について

また、理解を深める仕組みとして、テーマ毎に事前に考える「ワークシート」と最後に学んだことをまとめる「ワークシート」や、内容を補足する「豆知識コーナー」なども含まれています。学校での授業や、講習会、セミナーなどでぜひご活用ください。



スライド形式で自由に
学習内容を組み立て可能



各スライドのノートには
わかりやすい解説

冊子「除去土壌の再生利用って何ですか？」



この冊子は、除去土壌の再生利用について基本的な内容をまとめています。特に福島県飯館村長泥地区での再生利用実証事業を中心に構成しています。

この度、最新情報にリニューアルしました。本冊子をご覧ください、除去土壌の再生利用について理解を深めていただき、疑問解消の一助となれば幸いです。

詳しくは、環境再生プラザの
ホームページの資料集を
ご覧ください。



環境再生プラザ 資料集

検索

環境省の情報発信拠点

見学会やイベント等の詳細につきましては、各施設にお問い合わせ下さい

● 中間貯蔵工事情報センター



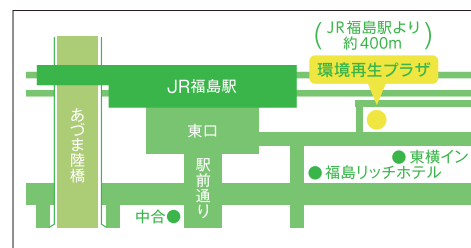
■所在地 福島県双葉郡大熊町
大字小入野字向畑256
■開館時間 10:00～16:00
■休館日 日曜日・月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-25-8377
中間貯蔵施設工事について紹介しています。
毎月、中間貯蔵施設見学会(事前申込制)を開催しています。

● 特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



■所在地 福島県双葉郡富岡町
大字上郡山字太田526-7
■開館時間 9:00～17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-23-7781
特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

● 環境再生プラザ



■所在地 福島県福島市栄町1-31 1階
■開館時間 10:00～17:00
■休館日 日・月・火曜日、5月の連休
※2023年4月より当面の間、
上記の通り変更になります。
■電話番号 024-529-5668
福島環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

『福島、その先の環境へ。』対話フォーラム 2023.4月

ふくしま 環境再生 Vol.28



「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。



環境省 福島地方環境事務所

福島県内の除染により発生した大量の除去土壌等は、福島県外で最終処分されることが法律で定められています。環境省では、除去土壌等の県外最終処分の方針や、再生利用の必要性・安全性等について一人でも多くの皆さんに知っていただくため、対話フォーラムを全国各地で開催しています。



「福島、その先の環境へ。」対話フォーラムとは？

- 東京電力福島第一原子力発電所事故（以下、福島第一原発事故）後の除染作業により発生した福島県内の除去土壌等は、30年以内に福島県外で最終処分されることが、国の責務として法律で定められています。そこで、除去土壌等が発生した経緯や課題、環境省の取組等について、皆さんに知っていただくため、対話フォーラムを開催しています。
- これまで、オンライン開催をはじめ、名古屋、福岡、広島、高松、そして新潟、仙台（2023年3月）など全国で8回開催されています。

—— プログラム ——

プレゼンテーション：福島県内除去土壌等の県外最終処分に向けた取組等についての説明

福島第一原発事故の後、福島県内の除染作業により発生した除去土壌等は、福島県外で最終処分されるまでの間、福島県双葉郡大熊町・双葉町に立地する中間貯蔵施設で、安全かつ集中的に管理・保管されています。

本フォーラムの前半では、2044年度末までの県外最終処分の実現に向けた、再生利用の必要性・安全性や実証事業の取組状況等について、環境省より説明します。

対話セッション

本フォーラムの後半では、参加者からの質問や意見を交えて登壇者と一緒に考え、意見交換を実施する時間を設けています。



「福島、その先の環境へ。」ホームページで、過去に開催された対話フォーラムについての実施レポートをご覧いただけます。また、当日ライブ配信された様子についてYoutubeチャンネルでアーカイブ視聴することができます。ぜひご覧ください。

福島、その先の環境へ。 対話フォーラム

検索



第7回対話フォーラム開催レポート

1月21日（土）、新潟の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで開催されました。参加者は、会場にお越しになられた方に加え、オンライン（ライブ配信視聴含む）で参加された延べ380名で、登壇者は西村明宏環境大臣をはじめとする7名の方々でした。

■ 福島 の状況 についての説明

会場では、動画「福島、その先の環境へ。」を上映したほか、環境省より東日本大震災及び福島第一原発事故から現在までの福島県内の環境再生事業等の状況や今後の課題などについて、プレゼンテーションを行いました。また、大熊町・双葉町の両町長のメッセージビデオも放映しました。

■ 登壇者からの話題提供

これまでに開催したフォーラムや当日の会場及びライブチャットでいただいた質問や意見への回答も含めて、登壇者の方々の専門分野や経験からお話を伺いました。

< 主な話題提供 >

- ・ 除去土壌の再生利用について
- ・ 放射線による健康影響について
- ・ 福島県での自身の経験や思いについて
- ・ 中間貯蔵施設が立地する大熊町住民としてこれからの地域づくりについて

■ 対話セッション

まずは、これまでいただいた質問の中でも、参加者から多く寄せられる「除去土壌が再生利用された場所は、安全なのですか？」という質問を取り上げました。

続いて、対話ボードやライブチャットでいただいた、会場及びオンライン参加者からの質問や意見についても登壇者から回答しました。

■ グラフィックレコードによるまとめ



フォーラム最後には、イラストや文字でフォーラムの様子をまとめたグラフィックレコードを関美穂子さんに作成してもらいました。



会場内ではパネル展示を実施



大熊町の吉田淳町長（左）と双葉町の伊澤史朗町長（右）



登壇者の専門分野や経験等による話題提供



対話ボードに質問や意見を書いた付箋を貼る参加者



対話セッションの様子

詳しくは、実施アーカイブの「第7回対話フォーラム開催レポート」をご覧ください。

YouTubeでライブ配信された当日の様子や、参加者からいただいた質問や意見、登壇者の感想コメントなどを掲載しています。

